

バシタック水和剤75（メプロニル水和剤）

適用病害と使用方法

2022年10月26日現在

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	メプロニルを含む農薬の総使用回数
稲	疑似紋枯症（赤色菌核病菌） 疑似紋枯症（褐色菌核病菌） 疑似紋枯症（褐色紋枯病菌）	1000倍	60～150L/10a	収穫14日前まで	3回以内	散布	3回以内
	紋枯病	1000～1500倍					
麦類	さび病	750～1500倍		収穫30日前まで	2回以内		3回以内（但し、根雪前は2回以内、融雪後は2回以内）
	雪腐小粒菌核病			根雪前			
ばれいしょ	黒あざ病	70～100倍	-	植付前又は貯蔵前	1回	5～20秒間種いも浸漬	1回
だいこん	亀裂褐変症（リゾクトニア菌）	1000～1500倍	100～300L/10a	収穫21日前まで	3回以内	散布	3回以内（但し、種子粉衣は1回以内）
てんさい	根腐病 葉腐病	500倍			6回以内		6回以内
きゅうり すいか トマト ミニトマト	苗立枯病（リゾクトニア菌）	750～1500倍	3L/m ²	は種時～子葉展開時	1回	土壌灌注	2回以内（但し、種子への処理は1回以内、土壌灌注は1回以内）

バシタック水和剤75（メプロニル水和剤）

適用病害と使用方法

2022年10月26日現在

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	メプロニルを含む農薬の総使用回数
レタス	すそ枯病	500～1000倍	100～300L/10a	結球開始期まで（但し、収穫30日前まで）	3回以内	散布	4回以内（但し、種子粉衣は1回以内、は種後は3回以内）
ほうれんそう	苗立枯病（リゾクニア菌）	200倍	-	は種前	1回	1時間種子浸漬	2回以内（但し、種子への処理は1回以内、土壌灌注は1回以内）
		1000倍	-			24時間種子浸漬	
		750～1500倍	3L/m ²	は種時～子葉展開時	土壌灌注		
ふき	白絹病	1000～1500倍	2～3L/m ²	定植時	2回以内		1回
ふき（ふきのとう）				収穫120日前まで			2回以内
なし	赤星病	500～1000倍	200～700L/10a	収穫60日前まで	5回以内	散布	5回以内
ぶどう	さび病	1000倍		収穫45日前まで	1回		1回
カーネーション	白さび病	500～1000倍	100～300L/10a	発病初期	8回以内		8回以内
きく					5回以内		5回以内
樹木類	くもの巣病	1000倍	200～700L/10a		3回以内		3回以内
	白絹病		3L/m ²				土壌灌注

バシタック水和剤75（メプロニル水和剤）

適用病害と使用方法

2022年10月26日現在

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	メプロニルを含む農薬の総使用回数	
やなぎ	さび病	1000倍	200～700L/10a	発病初期	8回以内	散布	8回以内	
せいようきんしばい					3回以内		3回以内	
つつじ類	もち病				8回以内		8回以内	
びやくしん類	赤星病	500～1000倍	1～2L/㎡	冬孢子堆膨潤前	3回以内		3回以内	
芝(バントグラス)	葉腐病 (ブラウンパッチ)			発病初期	8回以内		根雪前	8回以内
	雪腐小粒菌核病			発病初期				
芝(日本芝)	さび病 葉腐病 (ラージパッチ)							
たばこ	腰折病	1000～2000倍	3L/㎡	苗床期	2回以内	土壌灌注	2回以内	

バシタック水和剤75（メプロニル水和剤）

2022年10月26日現在

作物名	適用病害名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	メプロニルを含む農薬の総使用回数
野菜類	リゾクニア菌による病害 (苗立枯病等)	乾燥種子重量の 0.4%	は種前	1回	種子処理機による 種子粉衣	1回
ねぎ	黒穂病				種子粉衣	
豆類(種実)	リゾクニア菌による病害 (苗立枯病等)				種子処理機による 種子粉衣	-
花き類						
飼料作物						1回

バシタック水和剤75（メプロニル水和剤）

2022年10月26日現在

作物名	適用病害虫	使用液量	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	メプロニルを含む農薬の総使用回数
だいこん	苗立枯病（リゾクトニア菌）	-	種子重量の0.4%	は種前	1回	種子粉衣	3回以内（但し、種子粉衣は1回以内）
きゅうり すいか トマト ミニトマト ほうれんそう							2回以内（但し、種子への処理は1回以内、土壌灌注は1回以内）